

## 20年ぶりの浄土平

斎藤 恭

久しぶりの浄土平探鳥会です。前回参加したのが野鳥の会に入ってまもなくの頃だったかと記憶しているので、20年以上前でしょうか？個人的に登山等で訪れたことは何度かありますが、それでも5～6年は行ってないと思います。

到着してまずビジターセンター周辺を見渡します。以前はイワツバメが沢山いた様に記憶していますが、全く姿が見えません。そういえば個人的に来た時にもいなかった様な？一切経の稜線の方に、なにやらツバメっぽいのが飛んでいます。少し大きめのはアマツバメでしょうか？そうこうしているうちにアマツバメが1羽近づいてきました。久しぶりのアマツバメです。

今回は鳥子平ルートと鎌沼ルートの2班に分かれるということになりました。以前参加した時が鳥子平だったので、今回私は鎌沼ルートの方に参加しました。まず出発直前、イワツバメの鳴き声が聞こえてきました。稜線からは聞こえる距離ではないので、近くにいるのでしょうか。しかし姿は見えず。

登山道へ向かうと、まずはモズが出現しました。全体的に灰色っぽくて、茶色みが少ないです。しかしどう見てもモズ。「繁殖期の後半になると、羽が擦り切れて摩耗し、色が褪せてくるため、茶色みが薄くなってグレーがかった個体を高原モズと呼ぶ」そうです。フィールドガイドにも茶色みの少ない個体として載っていました。



モズ

さて、最初の湿原を抜けて登りに入りました。するとアオジの鳴き声が聞こえてきました。姿を探しますがなかなか見つからず。そのまま登っていくと、今度はホオジロの鳴き声が聞こえます。しかしやはり姿を見つけれず。登りも終盤に差しかかったところでようやく良く見える場所で盛んに囀るアオジを発見しました。遠くからはウソの鳴き声も聞こえて来ました。7月

にこれらの鳴き声を聞くと、高山って感じがしますね。周りにはシャクナゲの花が沢山咲いています。



アオジ

普段の探鳥会では見られない高山植物も楽しみの一つです。一切経と鎌沼への分岐手前で、猛禽に襲われたと思われる鳥の羽根を見つけました。全体的に黒っぽい羽根ですが、カラスよりは小さく、所々に白い部分が見られます。ホシガラスでしょうか？

一切経への分岐を過ぎて鎌沼が見えてきました。連休中ということもあり人がとても多いです。私の経験ですがホシガラスは警戒心が強く、なかなか近くに来てくれません。見通しの良いハイマツ帯というのも理由の一つかもしれません。いつもこの辺りでホシガラスを見かけるのですが、人が多いせいか全く姿が見えません。遠くから鳴き声は聞こえるのですが・・・。

鎌沼を過ぎて林に入ると、今度はメボソムシクイの鳴き声が聞こえてきました。鎌沼を過ぎてすぐの広い木道の休憩所で昼食をとると下りに入ります。ここで意外にもウグイスが姿を見せてくれました。

このルートはウグイスだらけですが、なかなか姿が見られないのがウグイス。一応、目は向けるのですが熱心には探さずにスルーしていました。それが珍しく低木の先端に止まって囀っていました。

その後、特に目新しいことも無く浄土平駐車場へ到着。種類数は少ないですが、高山ならではの探鳥を満喫出来たのではないかと思います。



ウグイス